

授業科目 看護理論

【担当教員名】		対象学年	2	対象学科	看護
本 間 千代子		開講時期	前期	必修・選択	選択
		単位数	1	時間数	15
【概要・一般目標：G10】 看護理論の開発過程を知り看護実践を行う上での有用な看護理論を習得する。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 理論とは何かをのべることができる。 2. 看護理論を看護ケアの向上に用いる利点を説明できる。 3. 看護理論家の名前と理論の特徴を5つ以上のべることができる。 4. 興味・関心のある理論を選び解説することができる。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	理論とは何か			1	講義
2	看護理論とは何か			1.2	講義
3	看護理論家の業績			1～3	講義
4	ナイチンゲール、レニンガー、ベナー、ワトソン、ロジャーズ、ロイ、R. L. Tモデル			3.4	講義
5	興味関心のある理論			3.4	G. W
6	選んだ理論を概説し発表する			1～4	発表
7	選んだ理論を概説し発表する			1～4	発表
8	まとめ				
【使用図書】		<書名>		<著者名>	<発行所> <発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		資料にておこなう			
参考書		看護理論家とその業績 第3版	アン・マリナー・トメイ、 都留伸子監訳	医学書院	2004
その他の資料		ビデオ サークルオブノレッジI II			
【評価方法】 出席10% 討議、発表の参加度と課題30% レポート60%			【履修上の留意点】 興味関心のある理論家を調べ探求することから始まる。		